

虫垂切除（緊急）の手術を受けられる方へ

入院診療計画書

作成日:

ID		患者様名		病名	☐ 虫垂炎 ☐	特別な栄養管理の必要性	☒ 無 ☐ 有			
看護師		薬剤師		栄養士		症状	☐ 特になし ☐	リハビリ計画	☒ 無 ☐ 有	
理学療法士						手術日		時	総合的な機能評価	問題なし
日付										
経過	手術当日				術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目
目標	不安を医療者に伝えることができる		痛みが最小限で過ごせる		術後早期離床できる		食事摂取できる		日常生活に戻ることができる	
点滴	 持続点滴があります 間欠的に抗生剤の点滴があります				食事が半量以上摂取できれば 点滴終了です 抗生剤のみ継続となる場合があります			ありません		
内服	持参薬は医師が確認します 抗凝固薬や糖尿病薬等は中止する場合があります				医師の指示にて持参薬を開始します 抗凝固薬や糖尿病薬等は 医師の指示にて再開となります 再開時はお知らせします					
検査	レントゲンがあります 				レントゲン・採血 があります	ありません	採血 があります	必要時採血があります		
処置	へその処置をします		心電図モニター・酸素・下肢に 深部静脈血栓予防の機械をつけます (手術後経過をみながら外します)		 適宜、検温や血圧測定を行い、傷の観察をします 術後2日目に傷のテープを剥がします					
活動	手術までに術衣へ着替え、 血栓予防の靴下を履きます		 術後、ベッド上での安静ですが 居室6時間後より歩行可能です		歩行可能です	 リハビリ状況に合わせて無理のない範囲で運動をしましょう 歩行ができれば血栓予防の靴下は脱ぎます				
食事	絶飲食です				主治医の許可が出れば 術後1日目の昼より水分・食事 開始となります		食事開始後、お腹の痛みや、吐き気、張り等があれば、食事は摂取せずに 看護師へお知らせ下さい			
清潔	麻酔の管が口から入りますので歯磨きをしておいて下さい		歯磨きは可能です お手伝いします		体を拭きます	 肺炎予防のため毎日歯磨きをしましょう 翌日からシャワー浴が可能です 入浴は次の外来まで感染予防のため控えて下さい 傷は石鹸で優しく洗うようにして下さい				
排泄	トイレをすませて下さい		尿の管が入ってきます 排便の際はベッド上での 排泄となります 必要時はお手伝いします		歩行ができれば尿の管を抜きます 血尿や尿の出にくさ があればお知らせ下さい		離床してお腹が動き始めることでガスや便が出始めます			
指導	分からないことや不安なことがあれば 遠慮なく看護師にご相談下さい		痛みは我慢せずお知らせください 点滴の痛み止めがあります ※何かある時には遠慮せずに ナースコールを押して下さい		体を動かすこと(離床)は 術後合併症の予防になります 痛みは鎮痛剤でコントロールし 積極的に離床しましょう 術後肺炎予防のため歯磨きは毎日しましょう			退院後も傷の痛みは残る場合もあります 痛みが日ごとに軽減していれば 問題ははありません		
説明	医師より手術の説明があります 同意書にサインして頂き提出をお願いします 出棟時間が決定次第、看護師よりお伝えします		 麻酔から覚めるまで 数時間かかります		初回歩行は看護師が付き添います 2回目以降も歩行に不安があれば付き添います 遠慮なくナースコールでお知らせ下さい			平日午前中の退院となります 清算・次回受診日については 当日午前中に事務員が 説明に伺います		

※上記内容は現時点で考えられるものであり、今後変わり得る場合があります。

☆退院指導☆



外来診察担当医・受診日

(

年

月^日時^分)

検査内容・予定日

(

年

月^日時^分)

退院時のお薬 **有・無**

・手術後2〜3ヶ月程は激しい運動
や重い物を持つのは避けましょう。
制限はありませんが腹圧がかから
ないように注意して下さい

・便秘に気を付け食物繊維を多く
摂取し、規則正しい排便習慣をつ
けましょう

・傷の異常(赤み・腫れ)や高熱が
出た場合は外来受診して下さい

・傷は毎日石鹸で優しく洗浄し、清
潔を保つようにして下さい

上記の症状があれば
下記に連絡し
相談して下さい



緊急連絡先

072-469-3111

平日 8:45〜17:00
Bブロック
時間外は救急外来

りんくう総合医療センター 8海病棟 作成：2016.09
改訂：2026.09

説明日：20 年 月 日 主治医(説明医)： (署名もしくは捺印)

完成後はコピーを1部取り、病棟用ファイルに入れ、原本を患者様にお渡し下さい。

本人/家族等： 続柄：